

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】令和3年1月21日(2021.1.21)

【公表番号】特表2020-535167(P2020-535167A)
 【公表日】令和2年12月3日(2020.12.3)
 【年通号数】公開・登録公報2020-049
 【出願番号】特願2020-517489(P2020-517489)
 【国際特許分類】

C 0 7 K 16/26 (2006.01)
 A 6 1 K 39/395 (2006.01)
 A 6 1 P 25/04 (2006.01)
 A 6 1 P 25/06 (2006.01)
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)
 C 1 2 N 15/13 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 16/26 Z N A
 A 6 1 K 39/395 N
 A 6 1 K 39/395 D
 A 6 1 P 25/04
 A 6 1 P 25/06
 A 6 1 P 43/00 1 1 1
 C 1 2 N 15/13

【手続補正書】

【提出日】令和2年3月26日(2020.3.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

重鎖可変領域(HCVR)および軽鎖可変領域(LCVR)を含むヒト下垂体アデニル酸シクラーゼ活性化ペプチドに結合する抗体であって、前記HCVRが、相補性決定領域(CDR)HC DR 1、HC DR 2、およびHC DR 3を含み、前記LCVRが、CDR LC DR 1、LC DR 2、およびLC DR 3を含み、HC DR 1のアミノ酸配列が、配列番号3であり、HC DR 2のアミノ酸配列が、配列番号4であり、HC DR 3のアミノ酸配列が、配列番号5であり、LC DR 1のアミノ酸配列が、配列番号6であり、LC DR 2のアミノ酸配列が、配列番号7であり、LC DR 3のアミノ酸配列が、配列番号8である、抗体。

【請求項2】

HC DR 2が、残基13にアスパラギン酸を含み、HC DR 3が、残基8にアスパラギンを含み、LC DR 1が、残基7にセリンを含み、LC DR 2が、残基7にロイシンを含む、請求項1に記載の抗体。

【請求項3】

HC DR 2が、残基13にアラニンを含み、HC DR 3が、残基8にスレオニンを含み、LC DR 1が、残基7にトリプトファンを含み、LC DR 2が、残基7にフェニルアラニンを含む、請求項1に記載の抗体。

【請求項4】

HCDR2が、残基13にグルタミン酸を含み、HCDR3が、残基8にスレオニンを含み、LCDR1が、残基7にトリプトファンを含み、LCDR2が、残基7にフェニルアラニンを含む、請求項1に記載の抗体。

【請求項5】

HCDR2が、残基13にグルタミンを含み、HCDR3が、残基8にスレオニンを含み、LCDR1が、残基7にトリプトファンを含み、LCDR2が、残基7にフェニルアラニンを含む、請求項1に記載の抗体。

【請求項6】

重鎖可変領域(HCVR)および軽鎖可変領域(LCVR)を含み、前記HCVRのアミノ酸配列が、配列番号9であり、前記LCVRのアミノ酸配列が、配列番号10である、請求項1に記載の抗体。

【請求項7】

HCVRが、残基62にアスパラギン酸、および残基104にアスパラギンを含み、LCVRが、残基30にセリン、および残基55にロイシンを含む、請求項6に記載の抗体。

【請求項8】

HCVRが、残基62にアラニン、および残基104にスレオニンを含み、LCVRが、残基30にトリプトファン、および残基55にフェニルアラニンを含む、請求項6に記載の抗体。

【請求項9】

HCVRが、残基62にグルタミン酸、および残基104にスレオニンを含み、LCVRが、残基30にトリプトファン、および残基55にフェニルアラニンを含む、請求項6に記載の抗体。

【請求項10】

HCVRが、残基62にグルタミン、および残基104にスレオニンを含み、LCVRが、残基30にトリプトファン、および残基55にフェニルアラニンを含む、請求項6に記載の抗体。

【請求項11】

重鎖(HC)および軽鎖(LC)を含むヒト下垂体アデニル酸シクラーゼ活性化ペプチドに結合する抗体であって、前記HCのアミノ酸配列が、配列番号1であり、前記LCのアミノ酸配列が、配列番号2である、抗体。

【請求項12】

HCが、残基62にアスパラギン酸、残基104にアスパラギン、残基231にプロリン、残基237にアラニン、および残基238にアラニンを含み、LCが、残基30にセリン、および残基55にロイシンを含む、請求項11に記載の抗体。

【請求項13】

HCが、残基62にアラニン、残基104にスレオニン、残基231にプロリン、残基237にアラニン、および残基238にアラニンを含み、LCが、残基30にトリプトファン、および残基55にフェニルアラニンを含む、請求項11に記載の抗体。

【請求項14】

HCが、残基62にグルタミン酸、残基104にスレオニン、残基231にプロリン、残基237にアラニン、および残基238にアラニンを含み、LCが、残基30にトリプトファン、および残基55にフェニルアラニンを含む、請求項11に記載の抗体。

【請求項15】

HCが、残基62にグルタミン、残基104にスレオニン、残基231にプロリン、残基237にアラニン、および残基238にアラニンを含み、LCが、残基30にトリプトファン、および残基55にフェニルアラニンを含む、請求項11に記載の抗体。

【請求項16】

請求項1～15のいずれか1項に記載の抗体を含む、原発性頭痛、二次性頭痛、および片頭痛のうちの1つの治療剤。

【請求項 17】

請求項 1 ~ 15 のいずれか 1 項に記載の抗体を含む、三叉神経・自律神経性頭痛の治療剤。

【請求項 18】

前記三叉神経・自律神経性頭痛が、反復性群発頭痛、慢性群発頭痛、発作性片側頭痛、および片側神経痛様頭痛発作のうちの一つである、請求項 17 に記載の治療剤。

【請求項 19】

原発性頭痛、二次性頭痛、および片頭痛のうちの一つの治療のための薬物の製造に使用するための、請求項 1 ~ 15 のいずれか 1 項に記載の抗体。

【請求項 20】

三叉神経・自律神経性頭痛の治療のための薬物の製造に使用するための、請求項 1 ~ 15 のいずれか 1 項に記載の抗体。

【請求項 21】

前記三叉神経・自律神経性頭痛が、反復性群発頭痛、慢性群発頭痛、発作性片側頭痛、および片側神経痛様頭痛発作のうちの一つである、請求項 20 に記載の抗体。